



大好き かたびら

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.1 4月号
令和2年4月7日
横浜市保土ヶ谷区
川辺町65-1
Tel.045-335-5896

この時代に

校長 齋藤 容二

新しい年度、令和2年度が始まりました。年が明けた頃には、今の状況を予測することは不可能だったことでしょう。病で苦しむ方々、必死に対処している医療従事者の方々、困難な状況でも努力されている方々等を思うと、私たちはこの新年度の状況を受け止め、子どもたちのためにできることを粘り強く行っていくことが求められています。4月は十分に授業を行うことができず、さらに今後も大幅な計画の見直しが行われていきますが、柔軟に修正し、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、よりよい教育を目指して取り組んでまいりたいと思います。今年度もよろしくお願いたします。

本校がめざす具体の目標には、

(知) 自ら進んで学び、表現する子を育てます。

(徳) 互いに信頼し合って生きる子を育てます。

(体) 心も体も健康になる子を育てます。

(公) 帷子を愛し、帷子の未来を創る子を育てます。

(開) どんな人とも豊かなコミュニケーションができる子を育てます。

が掲げられています。これらの目標は、学校行事だけでなく毎日の授業、生活などあらゆる場面において意識し、具体的な取組につなげていきます。「主体的に行動する力」「よりよいコミュニケーションの力」「いじめを許さない態度」「共に生きる態度」「粘り強さ」等、今も、そしてこれからもより求められていく様々な力が子どもたちに付けられるよう、教職員一同努力してまいります。

今年度、重点研究では昨年度に続き特別活動を取り上げ、子どもたち自らが自分たちや学校を見つめ直し、「よりよい学校づくり」を行うことをめざしていきます。特に今年度は創立百十周年となるので、保護者や地域の方々に自分たちの思いや姿、取組を発信していくことも出てくるかと思えます。子どもたち自らがまちに飛び出し、まちの方とかわりながら、まちの学校としても自分たちの学校を見つめ直し、未来につながる取組を行っていくことを願っています。そして、それらの営みが、子どもたちにとって十年後、二十年後にも「生きてはたらく力」となっていくと考えます。学校だけでなく、まちやまちの人々も含めて、子どもたちが「大好き かたびら」と自信をもって言えるようになるよう取り組んでいきます。

以前勤めた学校で、私自身が担任として区の音楽会に参加した際扱った曲に、「この時代に」という曲がありました。その歌詞の一部に「…この時代に ぼくは何をしよう」「…この時代に ぼくはどう生きよう」という言葉があり、印象に残っているので今でも時々口ずさみます。(曲としては、平和や自己実現がテーマのようでもあります。)

報道を見聞きする中で、「早く感染が収まってほしい」と話すまちの人の声があります。おそらく全ての人がそう願っていることでしょう。では、どうすればよいのか。

大人も含め、思うようにいかなかったり困ったりしたときに、つい周りのせい、誰かのせいにしてしまうことがあります。状況が改善されないことに対し「早く何とかしてほしい」と他に頼ってしまうこともあるかもしれません。もちろん、自分一人の力では周りの状況をすぐに変えることが難しいこともあるでしょう。しかし、そのようなときでも「今自分にできることは何だろう」「何か始めたり続けたりすることで、周りの人の気持ちや状況が変わるかもしれない」と思うこと、そして、小さなことでも自分にできることを始めてみるのが大切になるのではないかと思います。

この時代、この困難な状況を受け止め、子どもたちの安全を守りながら、子どもたち自身が考え、行動する力を高めていくことを目指し、日々努力していきたいと思えます。一年間変わらぬご理解ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いたします。最後に、子どもたち、保護者、地域の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。